

## 適応外使用医薬品の使用申請書

責任者      麻酔科      紺崎 友晴

薬剤	リスペリドン錠0.5mg リスペリドン内用液1mg/mL	規格 0.5mg1錠 0.1%1mL	<input type="checkbox"/> 院内調剤が必要									
対象	器質性疾患に伴うせん妄・精神運動興奮状態・易怒性のある患者	<input type="checkbox"/> 特定の患者のみ ID	氏名									
<p>申請理由</p> <p>リスペリドンの適応は統合失調症、小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性で、せん妄に対しては適応外である。</p> <p>しかし、がん患者におけるせん妄ガイドラインやせん妄の臨床指針では、せん妄患者に対する内服薬治療として糖尿病ありの場合はリスペリドンというフローチャートを推奨している。液剤があり拒薬患者にも使いやすい。</p> <p>PADISガイドラインにはせん妄の副次的症状としての不穏、恐怖、幻覚、妄想などで重大な苦痛を感じている患者、もしくは不穏のため自傷他害の恐れがある者では、これらの苦痛の症状が改善するまでの短期間、非定型抗精神病薬を使用することが有益である。と記載されている。</p> <p>2011年9月に厚生労働省から「ハロペリドール、クエチアピン、リスペリドン、ベロスピロンを器質性疾患に伴うせん妄・精神運動興奮状態・易怒性に対して処方した場合、当該使用事例を審査上認める。」旨の通達が出されている。</p>												
<p>問題点と対策</p> <p>せん妄予防効果はないため、発症前の投与は行わない。</p> <p>注射剤は持効性のため、せん妄には使用しない。</p> <p>腎機能が低下している患者では作用が延長し、過鎮静になることがある。この場合はルーランを考慮する。</p>												
<p>根拠となる文献</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">がん患者におけるせん妄ガイドライン 2022年版 第2版</td> <td style="width: 30%;">日本サイコオンコロジー学会</td> <td style="width: 20%;">2022</td> </tr> <tr> <td>せん妄の臨床指針 [せん妄の治療指針第2版]</td> <td>日本総合病院精神医学会</td> <td>2015</td> </tr> <tr> <td>PADIS Guidelines</td> <td>Society of Clitical Care Medicine</td> <td>2018</td> </tr> </table>				がん患者におけるせん妄ガイドライン 2022年版 第2版	日本サイコオンコロジー学会	2022	せん妄の臨床指針 [せん妄の治療指針第2版]	日本総合病院精神医学会	2015	PADIS Guidelines	Society of Clitical Care Medicine	2018
がん患者におけるせん妄ガイドライン 2022年版 第2版	日本サイコオンコロジー学会	2022										
せん妄の臨床指針 [せん妄の治療指針第2版]	日本総合病院精神医学会	2015										
PADIS Guidelines	Society of Clitical Care Medicine	2018										